知的資産経営報告書

令和4年8月31日版 岐阜県信用保証協会



I. はじめに	→P.02
Ⅱ. 知的資産経営報告書策定の目的	→P.03
I)なぜ今、取り組むのか?	
2)経済危機と保証協会の変化	
3)業務体制(ライフステージに応じた支援体制)	
4)策定の流れ	
Ⅲ. 岐阜県信用保証協会の知的資産	→P.07
I)人的資産	
2)構造資産	
3)関係資産	
4) 風土資産	
Ⅳ. 現在の価値創造ストーリー	→P.11
V. 経営環境の変化と影響(予測)	→P.12
VI. 将来の価値創造ストーリー	→P.13
VII. おわりに	→P.15
(資料)協会概要	→P.16

1)人的資産

人的資産とは・・・組織活動において、人に依存している資産

信用保証制度の円滑な運営に必要 な知識・ノウハウを持った職員

外部機関との関係性構築に必要な コミュニケーション能力のある職員 中小企業融資に 特化した知識・ノウ ハウを持った人材 設立から70年以上、中小企業者向け事業性融資に特化

⇒保証審査から条件変更・再生・回収まで、 幅広く専門的な知識を有す

財務資料における 読解力・分析力を 持った人材 保証・条件変更・代位弁済審査等は主に提 出される書面により実施

⇒申請書類や財務資料を基に読解力·分析力を活かした審査を実施

交渉力・対話力・ 質問力・傾聴力を 持った人材

相手の考えを聞きながら、自らの意見も主張し、問題解決を目指す職員 ⇒左記コミュニケーション能力を有す

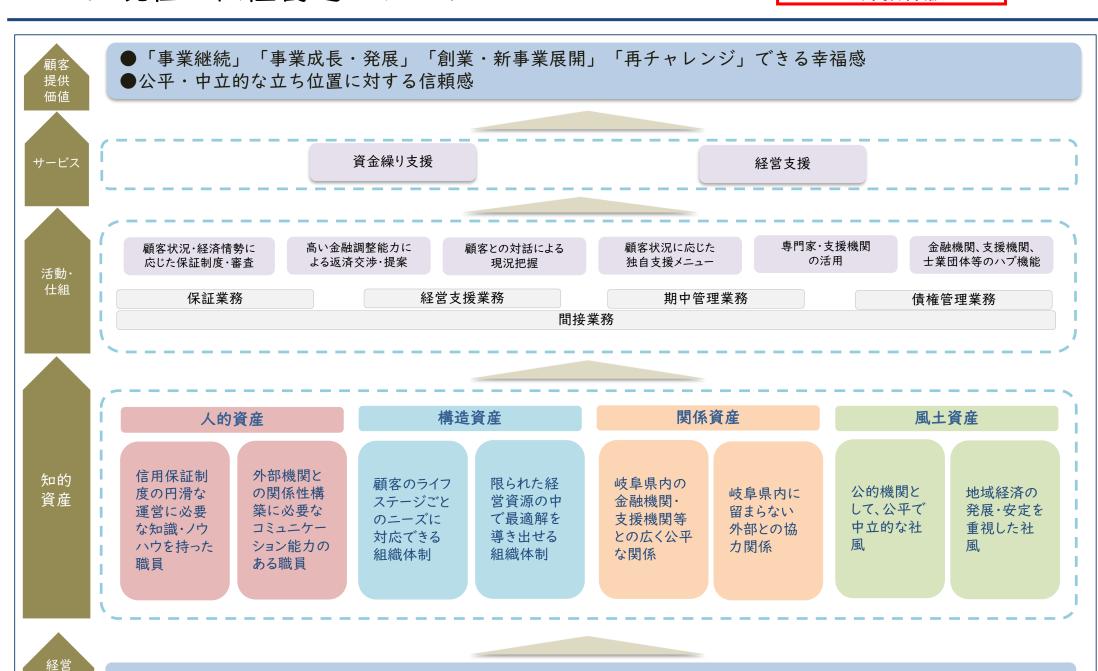
顧客支援に意欲の ある人材

多数の有資格者

顧客の声に耳を傾け、顧客とともに問題解 決・発展を目指して活動したいと願う職員 がいる

⇒自発的に自己啓発に取組む姿勢有す ⇒中小企業診断士、行政書士、社会保険 労務士、宅地建物取引士、経営アドバイ ザー…等多数の有資格者が在籍

理念



🥌 岐阜県信用保証協会

私たち岐阜県信用保証協会は 中小企業経営をサポートし ともに夢をはぐくみ 地域社会の発展に貢献します

価提顧 値供客 ●「事業継続」「事業成長」「創業・新事業展開」「再チャレンジ」 できる幸福感

●公平・中立的な立位置に対する信頼感

●身近に相談相手がいる安心感、安堵感

●事業理解してもらえる満足感

サービス

活動·仕組

資金繰り支援



経営支援



顧客に寄り添った 伴走支援へ

顧客状況·経済情勢に 応じた保証制度·審査 企業の魅力・信用 カを発掘

高い金融調整能力に よる返済交渉・提案 顧客との対話によ る信頼関係構築、 課題把握

顧客状況に応じた 独自支援メニュー 専門家・支援機関 の活用 金融機関、支援機関、 士業団体等のハブ機能

間接業務

保証業務

経営支援業務

期中管理業務

債権管理業務

顧客支援の視点

現在の知的資産を維持・強化

人的資産

構造資産

関係資産

風土資産

将来生み出す知的資産

行動力・主体性がある人材 (人的資産)

全職員が顧客支援を意識 (風土資産)

理経念営

知的資産

私たち岐阜県信用保証協会は 中小企業経営をサポートし ともに夢をはぐくみ 地域社会の発展に貢献します